

Think Legally, For Human Dignity



交通アクセス 土樋キャンパス

- 仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約5分
- 仙台駅より地下鉄南北線富沢駅行にて「五橋駅」下車 徒歩約5分

五橋キャンパス

- 仙台駅前より徒歩約15分
- 仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約1分
- 仙台駅より地下鉄南北線富沢駅行にて「五橋駅」下車 直結

法学部での活動を覗いてみませんか？

『Jura ~法学部の日常~』

こちらからアクセス!

「東北学院大学」HP → 「法学部」 → 「Jura ~法学部の日常~」
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/>

随時
更新中



東北学院大学 | 法学部
Faculty of Law

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

Faculty of Law
Guide 法学部
2026

東北学院大学法学部

4年間で学ぶこと

東北学院大学法学部の理念・目的は、「法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する」ことです。

「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」 “Think legally, for human dignity”

この理念に基づき、法学部では「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」を策定しています。

法学部は、所定の履修細則に従って卒業所要単位124を修得し、次の学習成果が確認できた者に「学士(法学)」の学位を授与します。そこで求められる学習成果の概要は、以下のとおりです。

- A 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
- B 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
- C 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
- D ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる 認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。
- E 法学部においては、次の学修成果を示すことができる。
 - (1) 法の支配及び法治主義を理解し、立法・司法・行政とそれぞれに携わる重要機関の役割を説明することができる。
 - (2) 主要な法分野における基本的な価値や法原理を理解し、それらを身近な問題解決に応用することができる。
 - (3) 日本の主要な実定法を体系的に理解し、それらの基礎的な内容を説明することができる。
 - (4) 一般的な法的問題について、法的判断に必要な情報を集め、それらを整理して要点を説明することができる。
 - (5) 法を解釈し適用する際の法的論理を理解し、具体的事実を法に適用して法的結論を導き出すことができる。
 - (6) 新しい社会問題について、法的対応の現状を説明し、あるいは別の新たな法的対応を提案することができる。

カリキュラム

1年	2年	3年	4年
専門導入科目 ●リーガル・リサーチ ●法学の基礎 ●政治学の基礎 専門科目 ●憲法I ●憲法II ●民法入門 ●民法総則I ●法曹養成実習I	専門基礎科目 ●憲法III・IV ●行政法総論I・II ●民法総則II ●物権法I ●債権法各論I ●家族法I・II ●会社法I ●民事手続法入門 ●刑法総論I・II ●国際法I・II ●経済原論I・II ●国際経済論I・II など	政策・行政コース ●租税法I・II ●行政法各論I・II ●物権法II ●債権法総論I・II ●債権法各論II ●会社法II・III ●商法I・II・III ●金融法 ●民事訴訟法I・II ●民事執行法・保全法 ●倒産法 ●労働法I・II ●知的財産法I・II ●刑法各論I・II	企業法務コース ●刑事訴訟法I・II ●刑事政策 ●法哲学I・II ●法思想史 ●西洋法制史I・II ●日本法と外国法 ●国際法III・IV・V ●国際私法 ●政治学I・II ●国際政治論 ●地方自治論I・II ●行政学I・II ●財政学I・II ●社会保障論I・II など

基礎演習I	基礎演習II	演習一部
教職課程 ●教育基礎論 ●教育の制度と経営 など	●教育課程論 ●社会・公民科教育法I (概論・理論)など	●社会・公民科教育法II(実践) ●社会・公民科教育法(応用)など

皆さんには大学生活で是非、知識や経験を得ることによって視野も広がるという体験をしてほしいと考えています。大学では、自分自身で履修する科目を選択しますが、自身の興味関心に応じて選択した科目の授業を受ける中で、当初は考えも及ばなかったような科目間のつながりを発見することがあります。

1、2年生のうちは、自身の将来の進路を考えつつ、幅広く学習していきます。

3年生の履修登録の際には、卒業後の進路を意識して「政策・行政コース」「企業法務コース」「法律専門職コース」のいずれかのコースを選択することとなります。

以下の先輩の言葉をぜひご参考にしてください。
2023年度からスタートした3つのコース制は、各自の進路のため、重点的・効率的に科目履修ができるよう工夫されています。なお、コースごとに卒業要件に若干の相違があることには注意が必要です。

政策・行政コース

Policy Administration Course

国家公務員・地方公務員、警察官・消防官、裁判所事務官(総合職・一般職)などをめざす履修モデルです。



企業法務コース

Corporate Legal Affairs Course


金融業界、不動産・建設業界など、将来、民間企業への就職をめざしたり、職種に関係なく経済社会と法の関係を学ぶ履修モデルです。



法律専門職コース

Legal Profession Course

弁護士・裁判官といった法曹(そのための法科大学院進学)や行政書士・税理士・国税専門官などの法的知識を専門とした職業をめざす履修モデルです。



公務員をめざす

政策・行政コース

私が法学部を志望した理由は、法律を基礎とした行政の役割を学び、社会に直接貢献できる仕事に就きたいと考えたからです。行政や公務員の仕事は、法律に基づいて人々の生活を支え、社会課題の解決に取り組む点に大きな意義があります。法学部で法律の考え方や制度を体系的に学ぶことで、社会のルールを正しく運用し、人々の安心・安全を守る力を身につけたいと考えています。

大学生活は自由な時間が多い一方で、自ら目標を設定し、主体的に行動しなければ成長の機会を逃してしまいます。政策・行政コースでは、法学の基礎を学びつつ公務員試験や就職活動に向けて明確な目標を持って学習に取り組むことができます。こうした取り組みは、学習習慣の定着やモチベーションの維持につながります。

3年次からは、公務員試験を見据えた本格的な学習が始まります。本コースでは、「コース総合演習」をはじめ、「TKC公務員試験学習ツール」「フォローアップ講座」「公務員試験座談会」「公務員就職説明会」など、充実したサポート体制が整っており、自らの進路実現への体制が整っています。授業と課外講座を組み合わせることで、自分に合った学習を行うこともできます。

東北学院大学には、挑戦したい気持ちを後押ししてくれる教職員や仲間が多くいます。政策・行政コースでの学びを通じて、自分だけの経験を積み重ね、公務員試験や就職活動に臨むための確かな自信を身につけてほしいと思います。

遠藤 柁 さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1				物権法	
2	刑法各論			演習一部	
3	行政法総論		債権総論	知的財産法	
4					
5	労働法		刑事訴訟法		家族法

民間企業をめざす

企業法務コース

私は「正確で信頼できる情報を社会やそれを必要としている人へ届ける場に関わりたい」という軸を中心に就職活動を進めています。選考では、大学生活を通してどのような取り組みを行い、そこからどのような自分らしさが見えてくるのかを問われることが多く、まずは日々の学びや経験を丁寧に積み重ねることが大切だと感じています。大学生活は自由度が高いからこそ、自分の「好き」と興味関心を主体的に探求し、形にしていける姿勢が求められます。

私自身、リコーダー同好会を立ち上げたり、ゼミでの研究に励んだり、仙台市内のお祭りの実行委員を務めたりと、興味を持ったことには積極的に挑戦してきました。こうした経験の一つひとつが、自分の志向や価値観を知る手がかりとなり、就活の場でも自然と語ることで「自分らしさ」につながっています。

また、学問そのものに向き合う時間も非常に充実しています。先生や先輩方が親身にサポートして下さる環境があり、学ぶことの楽しさを改めて実感しています。

高校生のみならず、ぜひ大学ならではの自由と可能性を存分に活かし、自分だけの道を切り拓いてほしいと思います。

中村 こころ さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	商法				
2	刑法各論	政治学		演習一部	会社法
3		国際法			コース総合演習
4	倒産法				
5	労働法				

法曹をめざす

法律専門職コース

私は高校生の時から漠然と法律学への関心があり、法学部に入学するからには専門家を目指したいと考えていたため、入学当初から、法曹への道を志していました。

法律学は、膨大な学説や判例が蓄積された学問です。そのため、法律の学習においては、判例や複数の基本書を読み比べるというような勉強の仕方が必要となります。初めは難解に感じられるかもしれませんが、繰り返し読むうちに理解できるようになります。また、基本六法を中心に横断的に学ぶことで理解が深まることもあります。根気強く、文字と向き合い整理して考えることで、法律問題に対して適切な対処ができるようになると思います。

また、誤解されがちですが、条文は暗記するものではなく、繰り返し学習するうちに結果として覚えるものです。条文が出てくる都度、六法をひいて確認することも法律の学習には欠かせません。

以上のように、法律学は複雑かつ広範囲で奥深い学問です。そのため、学習初期は壁にぶつかることがあると思いますが、それを乗り越えた先に、日常生活の出来事も法的な視点で捉えることができるようになり、自身の思考の広がりを実感できます。粘り強い学習で自分の可能性を広げてください。

渡部 大翔 さん

Timetable

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					キリスト教
2	刑法各論		民事訴訟法	物権法	会社法
3	行政法総論		債権法総論	演習一部	
4		フリティカル・シンキング			
5		法曹養成実習	刑事訴訟法		家族法

1年生のための導入科目・専門科目

「法学」「政治学」のスタートライン

大学入学後、初めて触れることになる「法学」や「政治学」。4年間をかけて学びを深めていくためには、それらの基礎を修得することが重要です。

1年生の導入科目

リーガル・リサーチ

この講義は、グループ単位で受講する“法学事始め”。法学部生となった皆さんが、法学を学修する上で必要となる「武器」を身につけることを目的としています。とにかく法律を「使える」ようにすることを目標として、条文の読み方や判例の読み方、資料の調べ方などを修得します。また、多くの学生が悩む「法律答案の書き方」については、実践を踏まえ、確実に身につけましょう。法学学修の秘訣は“自学自習”！一人一人が4年間を通じて自立して法学学修を進められるよう、個人の習熟を重視します。



1年生の専門科目

憲法Ⅰ・Ⅱ

憲法Ⅰでは、憲法とは何か、日本の憲法史、国民主権・権力分立・平和主義などの基本原理、憲法改正や違憲審査制をはじめとする憲法保障の仕組みなど、日本国憲法の総論・基本原理を学びます。毎回の講義では、教科書とレジュメを用いて、歴史的な展開や裁判例などの具体例を紹介しながら丁寧に説明します。理解を深めるためのいろいろな資料を講義中に紹介しますので、自分から調べる習慣をつけてください。

また憲法Ⅱでは、日本国憲法が定める国会・内閣・裁判所などの組織の仕組みや権限、相互の関係について説明します。言い換えれば、政治の仕組みを学ぶことであり、皆さんが実際の政治を考える上で必要な基本的知識をその内容としています。普段からニュースに触れて、実際の国会や内閣、裁判所の動きにぜひ関心を持つようにしてください。講義で学ぶ内容が生き生きとした意味を持ち、より興味を持つことができるようになるでしょう。



法学の基礎

法学には様々な分野がありますので、この科目では、法学部の4年間で学ぶ法学全体を概観します。高校の学びから大学の学びへと円滑に接続できるようにするために、高校の『公共』、『現代社会』、『政治経済』、『日本史B』および『経済活動と法』の教科書に書かれている内容をもとに、法学の基礎的な知識・考え方を説明します。この科目で説明する内容は、4年間の法学学修の基礎となる知識・考え方ですので、確実に理解して下さい。

政治学の基礎

日本及び世界の政治現象を学ぶための基礎知識を得ることを目的としています。前半では、日本の法システムとも密接に関係する戦後政治の構造を、対外関係をも考慮に入れながら、歴史的観点から概説します。後半では、日本政治に特有の現象、歴史的現象に大きな影響を与えてきた仕組及び制度、日本政治と密接に関係する国際政治・比較政治に関するテーマについて、分かりやすく解説します。具体的な事件や人物を紹介することにも努め、政治に興味のある人だけでなく、興味のない人にとっても、面白い授業になるよう工夫するつもりです。3年次から政策・行政コースを選択しようと考えている人はもちろん、他のコースを選ぼうと考えている人も、ぜひ履修してみてください。



民法入門

「法学の女王」と呼ばれている「民法」。「市民・市民社会の法」だから「民法」。人の一生に関わる「民法」。ということで、民法は私たちが普通に生活をしている場面に関わる法律です。そのため、条文がたくさんあります。これをいくつかに分けて3年間にわたって勉強することになります。民法が分かると法律の面白さに気がつき、実社会に出てから必要な知識、例えば部屋を借りるとか、消費者問題とか交通事故、あるいは相続といった問題についてもわかるようになります。この講義ではそのような民法の道案内として、ざっと一通り見渡し、長い勉強の橋渡しをします。

民法総則Ⅰ

この科目では、「民法入門」で学んだ事柄のうち、「人」「物」「法律行為」という法律用語の意味内容や、契約のしくみなどについて、さらに詳しく学びます。民法だけでなく、法学全般の学修に役立つ知識の基礎固めを行うこととなります。「難しそうだ」と思うかもしれませんが、そういうときは、身近な具体例に置き換えて考えてみましょう。そのうち納得できるはずですよ。それでも分からなければ、ぜひ教員に質問してみてください。

特徴的な学び・ゼミ



公務員に必要なスキルを磨き、仲間とともに合格を目指す

源島 穂 准教授
政治学・行政学

本ゼミには、公務員を目指す学生が集まります。「生まれ育った地域に貢献したい」、「弱い人たちの役に立ちたい」、「経済的に安定した生活を送りたい」——そのような想いから公務員を志す学生たちが切磋琢磨しています。

演習一部(3年生)では、他大学と合同ゼミを開催します。合同ゼミでは毎年、特定の政策(公共交通、地方創生、移民など)についてディベートを行います。ディベートで求められるのは相手を論破することではなく、緻密な政策調査に基づく論理的な議論です。演習二部(4年生)では、卒業論文(卒論)を執筆します。志望先の行政機関がどのような政策を実施しているのか、その政策は他の行政機関と比べてどのような特徴があるのか、調査・分析して論文にまとめます。合同ゼミや卒論を通じて、公務員に必要な、政策調査や論理的説明のスキルを磨くことができます。

公務員試験は科目が多く、対策するのが大変です。途中で挫折してしまう人も少なくありません。本ゼミは、ゼミの仲間どうしで公務員試験の辛さを乗り越え、合格を目指す場です。みなさんも本ゼミでの活動を糧にして、公務員を目指してみませんか。



法の歴史を通して、人間を見つめる

塚原 義央 准教授
西洋法制史

法制史を専攻するゼミです。法学といえば憲法をはじめとした法律を学ぶというイメージが強いかもしれませんが、基礎法と呼ばれる科目もあり、法制史はその一つです。法を歴史的に探究することでより深く法を知っていくことができます。私は西洋法の歴史、特に古代ローマ帝国のローマ法を専門としています。

演習一部(3年生)では法制史の教科書を使いながら、基本的な事項を学んできます。特に史料と呼ばれる昔の人たちが残した文書記録は、法制史の勉強を進めるうえで重要です。基本的な史料を読みながらそれを研究して発表、議論するという一連の流れを繰り返します。演習二部(4年生)では、卒業研究を1年かけて作り上げます。3年生までに学習した法制史の事項の中から興味ある事柄を自分で選び、それについて調べていきます。定期的に研究の進捗状況を報告しながら、意見交換をします。就職活動で大変な時期ですがゼミでは友人と交流し、情報交換もできます。一息つきながら関心のある研究に没頭することは、知的で楽しい時間です。

本ゼミの目標は、法制史を題材にしなが先人たちの生き方に学びつつ、人生をより豊かなものにする。過去の世界で起こった事件を見てみると、現代の私たちも同じような問題に直面していてそれがまだ未解決であることに気付くでしょう。法の歴史を学ぶことで、そのような問題にどう対峙していくかを学んでいきたいと思っています。

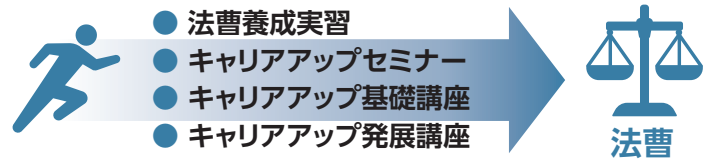


キャリアアップ

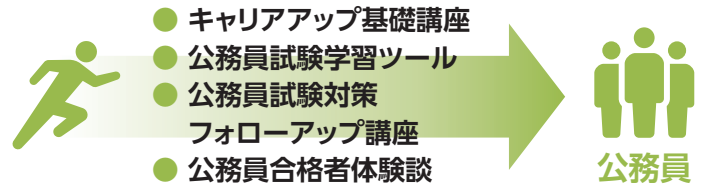
キャリアアップ支援プログラム

法学部では、法曹・公務員・法律専門職に就きたいと考える学生に対して、正課講義でのサポートはもちろん、自学自習を支援するために「キャリアアップ支援制度」を用意しています。また、これらの講義や講座の提供に関連して「キャリアアップ奨学金」も用意しています。これを通じて、経済的にも学生の皆さんを支援します。キャリアアップ支援制度をフル活用して、ぜひ、希望を叶えてください。法学部は、皆さんの夢の実現を全力でサポートします。

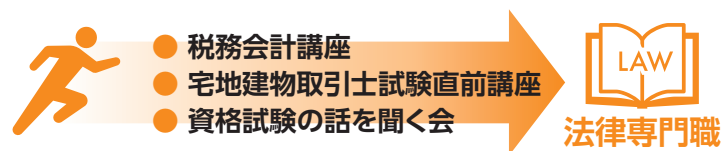
法曹(弁護士・検察官・裁判官)をめざす



公務員をめざす



法律専門職をめざす



進学・資格取得・勉学のインフォメーションセンター 法学部キャリアアップ支援室

法科大学院試験や公務員試験、資格試験の合格のためには自学自習が欠かせません。しかし、これらを目指す上での情報収集や、共に勉強する仲間存在もまた欠かせません。法学部のキャリアアップ支援室は、学生が自習したり、友人と議論するための部屋として活用されています。時には教員も訪問し学生の学習をサポートしています。法科大学院進学や法律系資格の取得、公務員試験の合格を応援するために、最新の法律書や問題集を多数取りそろえており、法律に特化した「ミニ図書館」としての役割も果たしています。学生はこれらの書籍を自由に手に取り、勉強に励むことができます。キャリアアップ支援室利用者からは、数多くの法科大学院合格者・難関公務員合格者を輩出して、学習の拠点として重要な場となっています。なお、キャリアアップ支援室は学生スタッフが運営しており、居心地の良い空間となっています。キャリアアップ支援室の「使いやすさ」の一要因です。



志を同じくする学生が集う勉強のサークル

サークル 萩鳳会(しゅうほうかい) X(旧Twitter)アカウント @shu_ho_kai
メールアドレス 311syu@gmail.com

みなさん、初めまして。東北学院大学萩鳳会です。今回は、本学唯一の法学系サークルである萩鳳会について紹介させていただきます。萩鳳会には、一緒に勉強できる仲間を見つけたい、法律についてもっと深く学びたい、という動機で入る人が多いです。萩鳳会のおすすめポイントは、就職活動をしている、または終わった先輩からアドバイスがもらえるということです。活動の内外で先輩から後輩に対して様々なアドバイスがなされている様子が見られます。また、定例の活動がそこまで多いわけではないため、他のサークルやアルバイトとの両立がしやすいという利点もあります。萩鳳会のメインの活動は学生同士での勉強会です。空きコマや進路希望を基に、いくつかのグループに分かれて活動しています。その内容は、講義形式、過去問演習形式など、さまざまな形式があります。入学後、ぜひ萩鳳会と共に学びを深めていきましょう。皆さんの参加をお待ちしています。



資格取得をめざす

法学部では、各種講座の提供に加えて、様々な「資格」の取得を支援するために、本学出身者による講演会などのセミナーやワークショップを開催しています。これらに参加することで、その資格や職業をめざす上で有益なアドバイスを得ることができます。この機会を存分に活用して、難関資格にもぜひチャレンジしましょう。

課外講座開講(予定)の資格

- 行政書士**
法律文書作成の専門家です。主要試験科目が法学部の講義科目なので、ぜひ在学中合格を目指しましょう。
- 宅地建物取引士**
不動産取引に必須の資格ですが、建築業や金融業への就職にも有利です。
- 弁護士**
誰もが知る法律の専門家です。法学部の講義科目は法科大学院や司法試験とも密接に関連しています。
- 司法書士**
登記や裁判所に提出する書類作成の専門家です。難関ですが高齢化の進む中、一層の活躍が期待されています。
- 税理士**
税に関する専門家です。大学院に進む人が多いですが、大学在学中に簿記の資格を取って備える人もいます。

在学中に資格取得を! ~資格取得報奨制度~

東北学院大学には、在学中の国家資格取得者へ資格取得報奨金や図書カードを給付する制度があります。例えば司法書士は15万円、行政書士や社会保険労務士は7万円、宅地建物取引士は3万円の報奨金の対象です。在学中に合格して、ぜひ報奨金を得てください。対象となる資格や手続きについては、東北学院大学のサイト(下記)に情報がありません。

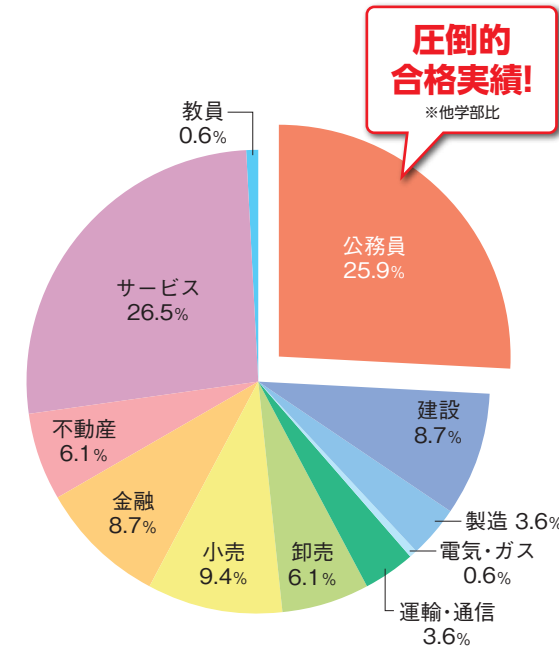
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/shikaku/bonus.html>

TG
LAW
LIFE
We Are The Future

卒業生の進路

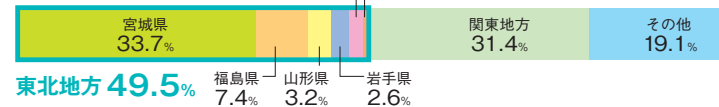
就職率
97.2%

法学部の学生の就職先は、サービス・金融・小売のほか、国税専門官、公務員・教員と多岐にわたり、毎年安定した就職率になっています。



圧倒的
合格実績!
※他学部比

地域別就職状況



※就職率は、就職希望者に占める就職者の割合です。地域区分は本社所在地による。

過去3年間の主な就職先

公務員
国家公務員(一般職)、国税専門官、刑務官、自衛官、裁判所事務官、財務専門官、地方公務員(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県 東京都特別区、その他市町村)、警察官、仙台市消防局、秋田市消防本部、福島市消防局、東京消防庁、教員(中学校・高校)

民間企業
【建設業】三機工業、セキスイハイム東北、積水ハウス、仙建工業、大和ハウス工業、東北ミサワホーム、前田道路、ユアテック【製造業】アイリスオーヤマ、秋田魁新報社、岩手日報社、廣済堂、タカラスタンダード、東北計器工業、凸版印刷、ニチレイフーズ、福島民報社【電気・ガス・熱供給・水道業】東京ガス、東北電力【運輸・通信業】NTT東日本・東北、近畿日本ツーリスト、日本郵便、東日本電信電話、東日本旅客鉄道、北海道旅客鉄道、ヤマト運輸【卸売業】カメイ、高速、国分東北、仙台銘板、パイタルネット、ホシザキ東北、三菱電機住環境システムズ、山形ゼロックス、リコージャパン、ワキタ【小売業】JR東日本東北総合サービス、兼松コミュニケーションズ、セブンイレブン・ジャパン、ニトリ、宮城トヨタ自動車、ヨドバシカメラ、利久【金融業】あいおいニッセイ同和損害保険、青森銀行、かんぽ生命保険、北日本銀行、七十七銀行、荘内銀行、全国共済農業協同組合連合会、仙台銀行、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、東邦銀行、東北労働金庫、日本政策金融公庫、農村中央金庫、福島銀行、北都銀行、三井住友海上火災保険、宮城県信用保証協会、宮城第一信用金庫、杜の都信用金庫、山形銀行、ゆうちょ銀行、楽天カード、りそな銀行【不動産業】エイブル、住友不動産販売、大京穴吹不動産、タカラレーベン東北、東急リパブリック、ホットハウス、三井不動産リアルティ東北、三菱UFJ不動産販売【サービス業】各法律事務所、国立病院機構、全国健康保険協会、東北税理士会、日本年金機構、宮城県医師会、宮城県国民健康保険団体連合会、宮城県商工会連合会、労働者健康安全機構

Message

公務員 合格 山崎 奎哉 さん 宮城労働局

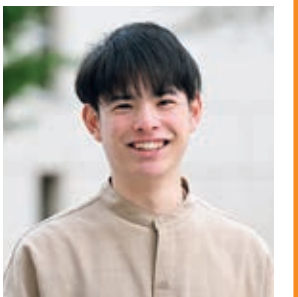
私は父が公務員ということもあり、幼少期より公務員を志望していました。また、法律に関して興味を抱いていたことから、公務員の合格実績があり、法律に関しても重点的に学習することができた東北学院大学法学部の入学を決めました。大学では様々な法律分野を学ぶことが可能であるため、法律に対する理解を深めることができました。特に、憲法、民法及び行政法などの法律科目は公務員試験の必要科目に該当することが多いことから、法学部の学生は日々の学習を公務員試験の試験勉強に繋げることが可能です。そのため、講義内容をしっかりと復習しながら継続的な学習をすることができれば、公務員試験の合格を掴み取ることができると思います。最後に、大学生活では楽しいことや大変なことなど色々ありますが、そういった経験は今後の人生においてとても大きな意味を持つため、是非積極的に行動をして多くのことに挑戦して欲しいと思います。皆さんの大学生活が、有意義なものになることを祈っています。



Message

民間企業 内定 海藤 暖人 さん 仙台銀行

私は、民法、労働法の法律学に興味関心があり、法学部法律学科を選びました。法学部法律学科は自身の進路選択に合わせて履修コースを選択することができ、自分自身の可能性を広げることができます。法学部法律学科と聞くと公務員試験、弁護士や裁判官など法曹が多いイメージですが、私のように民間企業就職を選択する学生も多いです。私は入学当初、公務員を志望していました。ですが、民法や労働法の授業を履修していく中で民間企業就職に関心を持ち、目指すようになりました。就職活動では、興味のある企業の説明会、オープンカンパニー等へのイベントには欠かさず参加しました。その中で自分の長所を最大限に活かすことのできる企業と出会うことができました。就職活動では辛い時期もありました。そんなときは不安や悩みを友人に相談するなどして乗り越え、後悔なく終えることができました。私は大学生活で、講義、ゼミ活動、部活動、就職活動、アルバイトを通して多くの経験をすることができました。これらの経験はかけがえのない財産になると思います。最後になりますが、法学部法律学科で自分自身の可能性を広げてください。



Message

法科大学院 先輩 木村 太一 さん 東北大学法科大学院

法学部といえばやはり弁護士をはじめとした法曹をイメージする方が多いのではないのでしょうか。法科大学院は法曹を目指して、司法試験の合格のため、法曹としての素養を得るために学ぶ大学院です。法学部での学びは、大学院での勉強や司法試験の合格に直接に繋がっています。法学部といっても法科大学院に進学する人は決して多いとはいえ、大学卒業後に就職する人が多い中、自分が法科大学院進学という選択することや大学院入試に合格できるかということについて不安を抱えることも少なくないと思います。実際、私も1年生のころから法曹を目指して法科大学院進学を志望していましたが、そのような不安は常にありました。しかし、東北学院大学の法学部では手助けをしてくれる教員や同じ進路を希望する仲間もいますし、自分を信じてコツコツと努力を重ねていけば、実力がつくと共にそのような不安も払拭することができるでしょう。みなさんも法曹を目指して法科大学院進学という進路を考えてみてはいかがでしょうか。

